

放課後等デイサービス 自己評価表

評価期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

評価者：うめっこリズム職員 3名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	3			児童が過ごすスペースは、手順書や掲示により視覚的にも分かりやすく導線を引いています。また、同時刻に10名以上にならないよう設定しております。
②	職員の配置数は適切であるか	3			管理者兼指導員1名、児童発達支援管理責任者兼指導員1名、児童指導員1名が常勤で配置されています。その他保育士1名、児童指導員2名が非常勤で配置されております。
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3		活動量が多い療育内容で身体障がいをお持ちのお子様は対象ではないため、身体的なバリアフリーの配慮は行っておりませんが、利用児童の個々の特性に合わせ、怪我や事故がないよう考慮した環境設定をしています。
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3			計画、実践、振り返り、改善は日々の活動はもちろん、毎月コンサルタントを交えながら実践しています。
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	3			年度末に保護者アンケートを実施し、保護者の方の意向をお聞きし、業務改善につなげています。
⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3			この自己評価の結果をHPにて公開いたします。
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			3	令和4年度、第三者による評価は行っていません。埼玉県は行わなくても問題はございませんが、検討したいと思います。
⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	3			今年度は法人全体での職員研修を毎月2回受講し、保育・障害等分野を問わず資質向上の機会が確保されて

						います。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			子どもたちの個々の特性や子どもと保護者の方の困り感を分析し、保護者面談等を通して適切な計画の作成に努めています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3			個別支援シート、個別支援計画書等標準化されたアセスメントツールを使用しております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3			児童発達支援管理責任者を中心に、定期的に職員間で共通認識を図ってプログラムの課題の立案を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			キーボードの導入、リトミック研修受講、課題曲や題材を変更する等して固定化しないように工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3			時間割や活動内容をきめ細やかに設定しております。長期休みは、粘土、絵画、レクリエーション等も取り入れ、子どもたちが長時間でも飽きないように工夫しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			集団療育のため、個別活動は行っておりませんが、集団の中で個別配慮は行っております。個人の特性と集団活動を組み合わせ、計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			ホワイトボードを活用し、送迎箇所の確認等を毎朝行っております。また、昼礼を行い、職員間で情報を共有しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3			その日のうちに出来ない日もありますが、翌日等になっても振り返りを行い、児童の様子や個別配慮事項を共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			個別日報、施設日誌を洩れのないよう記入に努め、支援の点検・改善につなげています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3			日課の課題の様子等、児童発達支援管理責任者を中心に見直しの必要性の判断をしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動	3			ガイドラインの総則に沿った支援を

		を複数組み合わせる支援を行っているか				行っております。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	3			現在担当者会議には管理者が出席しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3			毎月の下校時刻表をいただく際に連絡調整を行っています。また、まちこみメールを毎日確認したり、必要に応じて直接電話をしたりして下校時間の変更も間違えのないように細心の注意をはらっています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2		医療的ケアが必要なお子さんをお預かりする場合に備えて、契約時に契約書にて主治医等との連絡体制を整えていますが、事例はありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3			こども園と情報共有を行い、相互理解に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		1	2	現在のところ事例がありませんが、今後情報提供が必要なケースがありましたら適切に情報提供致します。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3			3月28日特別支援学校の先生に講師になっていただいて研修を受け、助言をいただきました。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3			今年度は8月に縄跳び教室を開催し、地域の子どもを招待し、交流する機会がありました。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		3		今年度は招集がありませんでしたが、招集がある場合参加したいと思います。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	3			児童の発達状況を職員同士で共有し、毎日の連絡帳や送迎時に保護者の方と共有しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	3			事業所での対応が可能な範囲での相談業務や発達に対する助言等は丁寧に行っています。

		ているか			
③⑩		運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3		契約の際にしっかり時間を設けて管理者より各種の説明を行っています。
③⑪		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3		気になる事や悩み等がある場合、アプリ・メール・電話等により発信していただき、面談の日時を設定して事業所での対応を伝えたり助言を行っています。
③⑫		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	父母の会は設定していませんが、令和4年度は利用説明会、成長発表会を開催し、保護者同士の連携を支援しています。
③⑬		子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3		苦情や意見については、すぐに管理者へ報告、職員間で共有、対応をしています。また、対応が難しい件に対しては経営者へ報告を行い指示を仰ぎ迅速に対応しています。
③⑭		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		SNS(自社HP・インスタグラム等)により定期的に活動報告を行い、毎日子どもたちの様子を個別で全保護者の方に連絡アプリにて報告しています。毎月の活動の様子をまとめた通信を発行しています。
③⑮		個人情報に十分注意しているか	3		利用児童の個人情報は鍵のかかる書庫に保管し、事業所外に持ち出しは行っていません。また、事業所外で個人が特定される情報交換は行いません。
③⑯		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3		個人の特性に合わせて手段(文章、口頭)を変えて対応しています。また、聴覚障害をお持ちの方は筆談やメールにて情報伝達をしています。
③⑰		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3		成長発表会に外部の方を招待して、地域に開かれた事業所運営を図っております。
③⑱		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知して	3		マニュアルを玄関に掲示する等して保護者に周知しています。職員間では資料を共有し、周知しています。

		いるか				
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3			令和4年度は、こども園と合同で避難訓練、消火訓練を行いました。
	④⑩	虐待を防止するための職員研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3			令和4年度は、法人内で8月27日、1月6日の計2回の職員研修を実施しました。人権擁護のためのセルフチェックも行い、虐待防止に努めています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3			契約時に契約書の書面にて説明し、保護者の方に理解を得ています。事業所の職員に関しても、身体的虐待の身体拘束についての定義について、④⑩の通り、研修を行い理解を深めています。
	④⑫	植物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		3		現在食事の提供は行っていませんが、長期休暇等お弁当を持参する事に備え、契約時に申告と診断書の提出を求めています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			ヒヤリハットはすぐに管理者へ報告し、報告書を提出してその日のうちに職員へ周知しています。また月ごとに事例を職員会議にて共有しています。

令和5年3月27日